

登録コード	A3Y51200		開講年度	2026			
授業科目	高冷地域生物生産生態学演習					担当教員	上野 豊 他
英文授業名	Field Science Seminar for Highland Agriculture and Biology						齋藤 勝晴・伊原 正喜
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	生命・食品科学コース 山岳圏森林・環境科学コース
講義室	野辺山ステーション			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2025Aカリ						
	【2025年度以降カリキュラム対象】2. 【専門性】 農学分野の専門的な学識と技術が身に付いている。					⇔	2. 【専門性】 農学分野の専門的な学識と技術が身に付いている。
	【2025年度以降カリキュラム対象】3. 【情報分析・発信力】 論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。					⇔	3. 【情報分析・発信力】 論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	この演習は、高冷地域という環境下における農業と畜産を組み合わせた複合農業の重要性について学び、持続可能な農業生産について考える機会を創出することを目的とした演習です。また、共同作業の重要性を知り、協調性を養う機会を創出することも目的とします。野辺山農場および構内農場で栽培される多くの園芸作物を教材に、近隣のJA施設見学、近隣の植生などを通じて、高冷地域の植物生産と動物生産を複合的に学ぶことで、「食の安全、安心と安定生産」や「環境保全」などの分野に対する理解を深めます。						
(5)授業計画	8月31日（月）～9月3日（木） 1日目（月）：バス移動、高冷地農業についての講義、高冷地作物の収穫 2日目（火）：高冷地作物の収穫・出荷作業、バス移動 3日目（水）：見学、野菜・果樹類・水稻の収穫、栽培管理 4日目（木）：見学、レポート作成、アンケート回答						
(6)自主学習の指針	実習で扱う高冷地で栽培される作物（キャベツ、トウモロコシ、ベニバナインゲン）、畜産業との複合農業に関連する書籍を読んでみることを勧めます。						
(7)成績評価の基準	①演習前半は野辺山STに、後半は構内STに滞在し、②演習プログラムに参加するとともに、③ 圃場作業等に自ら積極的に参加する、④高冷地と準高冷地の園芸作物の栽培・管理を体験し、実際の高冷地域農業の現場について理解を深め、⑤共同作業にともなうルールを遵守し他の受講生と協力しながら行動できた場合「卓越している」とする。 (①)は受講の際の必須条件とする。(②)～(⑤)のうち、(②)に関して体調不良等の理由により0.5日演習に参加できなかった場合 最高を「かなり上にある」、1日演習に参加できなかった場合「やや上にある」、1.5日演習に参加できなかった場合「水準にある」とする。						
(8)事前事後学習の内容	演習開始までに高冷地の農業・畜産業に関することを事前学習として調べておくこと。						
(9)テストやレポートの予定	○レポートは提示された課題について実習期間中に作成して、最終日に提出して頂きます。 ○最終日の演習終了前の15分間は演習に関するアンケートに回答するための時間とします。						
(10)成績評価の方法	○受講態度60点、レポート内容40点で評価します。 評価基準は以下の通り。 秀：90点以上（授業の達成目標の水準からみて卓越している） 優：80～89点（授業の達成目標の水準よりかなり上にある） 良：70～79点（授業の達成目標の水準よりやや上にある） 可：60～69点（授業の達成目標の水準にある） 不可（D）：50～59点（授業の達成目標の水準よりやや下にある） 不可（E）：49点以下（授業の達成目標の水準よりかなり下にある）						
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問は適宜受け付けます。 主担当 上野 豊 ytkuveno@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	＊宿泊可能人数、バス乗車定員(40名)が制限されるため、受講可能人数を超過した場合、調整させていただきます。また、高冷地域生物生産生態学演習は原則として生命・食品科学コース 山岳圏森林・環境科学コースの希望学生が履修登録して下さい。 ＊高冷地域動物生産生態学演習、高冷地域生物生産生態学演習との重複履修は認めません。 ○傷害保険に加入していることを履修条件とします。 ○事前説明会を実施しますので、受講登録者は必ず参加してください。 ○集合日時：演習初日9:00（予定）に信州大学農学部伊那キャンパスに集合してください。 ○持物は、医療保険証、作業着（長袖、長ズボン）、日焼け用帽子、作業手袋、長靴、日焼け止め、筆記用具、水筒、宿泊に必要な身の回り品（洗面具、タオル、着替え、ゴミ袋）等です。 ○高冷地は夏季でも朝晩は冷えるため、防寒対策を忘れないようにして下さい。						

(12)履修上の注意	○天候と実習対象作物の生育状況などにより、予定を変更することがあります。
【教科書】	特に指定しません。
【参考書】	特に指定しません。